

# 第39回

支店長の

# わがまち紹介



## 茨城県神栖市

子育て日本一プロジェクトで市民の希望をかなえる

カミスココくん、港公園 (写真提供：神栖市)

茨城県内の44の市町村を、それぞれにゆかりのある筑波銀行の支店長がご紹介します。第39回は、神栖市です。筑波銀行は、市内に1カ所2カ店の営業店を設置し、神栖市の皆さまと密接な関係を築いています。神栖支店長の高田徹が、神栖市長保立一男氏、企画部政策企画課政策監兼課長島田敏次氏、健康福祉部こども課長山本実氏にお話を伺いました。

### ●神栖市が一番と考えていること、自慢できることはどのようなことでしょうか

神栖市は、鹿島灘と利根川に囲まれ、豊富な水資源と温暖な気候に恵まれた緑豊かな潤いのあるまちです。この自然の恵みを生かした農業、漁業、商業、工業など各産業がバランスよく発達し、出荷量全国第1位のピーマンや水産加工品等の特産品を生産する一方、鹿島港を中心とした鹿島臨海工業地帯には、石油化学をはじめとした180社余りの企業が立地し、茨城県で第1位の製造品出荷額を誇っています。

#### 1 子育て支援

地方創生の取り組みの一環として、妊娠期から子育て期にわたるまで、切れ目のない子育て支援を行うため、平成28年度から新たに専門知識を持った「子育てコンシェルジュ」を配置し、6月1日から相談業務を開始しました。子育てコンシェルジュは、鹿行地域初の試みであり、安心して子育てできるように、相談内容に応じて、各家庭に合った子育てサービスを紹介するもので、子育てをするパパやママの強い味方になります。

加えて、6月1日から「子育てタウン」アプリ（無料）の配信を開始しました。このアプリでは、子どもの年齢に合っ



女性・子どもセンター (写真提供：神栖市)



こどもまつり (写真提供：神栖市)

た情報が通知されたり、市の行政情報を集めた「ママフレWEB」を簡単に調べることができたり、児童館や地域子育て支援センターのイベントスケジュールが収集できる等、リアルタイムな子育て情報を提供しています。これらを有効に活用し、きめ細やかな子育て支援を行います。

#### 2 神栖中央公園



神栖中央公園 (写真提供：神栖市)

防災機能を備えた総合公園として、平成26年6月1日に神栖中央公園が開園しました。約19ヘクタールもの広大な敷地の中に、食料や毛布等を備蓄する倉庫や飲料水を確保する耐震性水槽、防災トイレ、カマドベンチ等を備えた地域の防災拠点となる施設です。

平常時には、広大な芝生広場に大型遊具や噴水広場、ふれあいの丘(つき山)等、ふれあいや憩いの場として、子どもからお年寄りまでお楽しみいただけます。

また、公園内には、(仮称)神栖中央公園防災アリーナが平成31年



保立市長



島田政策監



山本課長



高田支店長

6月にオープンします。災害時の避難所機能及び救援救護活動スペース等の防災機能を備え、市民の安心・安全を確保するとともに、平常時は、スポーツや各種イベント等の開催で、多くの人が集う多目的施設として、市の中心部にふさわしいにぎわいを創出します。整備運営には県内市町村で初となる民間の力を活用するPFI方式を採用しました。

### ●今後の展望についてお聞かせください

今後、日本全体で加速していくと想定される人口減少は、当市においても例外ではなく、国立社会保障・人口問題研究所の予測を基に推計すると、このまま何も対策を講じなければ、2060年には約7万5千人と、現在より2万人近く減少すると予測されます。この推計結果を受け、人口減少・少子高齢社会に的確に対応するとともに、将来にわたって活力ある社会を維持していくために、昨年12月に「神栖市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を取りまとめました。

当市の総合戦略は、国の基本目標に沿った4つの基本目標からなり、特に重点的に取り組む「重点プロジェクト」を以下のとおり定めています。

#### 1 産業力強化プロジェクト

新增設を行った企業に対して新增設分にかかる固定資産税を3年間免除する制度や、6次



鹿島臨海工業地帯(写真提供:神栖市)

産業化支援策、水素エネルギー利活用戦略の策定等に取り組むことで、工業地帯の競争力強化や農業・水産業の成長産業化、サービス産業の活性化を促し、安定した雇用をつくります。

#### 2 イメージアップ・定住促進プロジェクト

市内外の方に好印象を持っていただけるように、公共看板のデザインを分かりやすいものに統一することや、イメージキャラクター「カミスココくん」を活用したPR等により、当市の全国的な知名度やブランド力の向上を図ります。また、当市は持ち家率が低いことから、若年世帯の住宅取得支援策の対象要件の緩和や補助の増額、UIJ

ターンの促進を目的とした当市独自の就職説明会の開催によって、交流人口・定住人口の増加を目指します。

#### 3 子育て日本一プロジェクト

少子化対策に本格的に取り組むために、少子化対策室を新たに設置しました。婚活イベントの実施により、若者の出会いの場を提供します。また、子育てコンシェルジュの配置や、通称「神福」制度による医療費助成の対象年齢の高校生相当までへの拡充等、本市での結婚・出産・子育てまで見据えた施策により、市民の希望をかなえ、子育て日本一のまちを目指します。

#### 4 安全・安心で潤いあるまちづくりプロジェクト

(仮称)神栖中央公園防災アリーナの整備や、平成29年4月開署予定の(仮称)神栖警察署と連携した防犯活動等、安全・安心なまちづくりを目指します。また、持続可能な公共交通ネットワークの構築や芸術のまちづくりの推進による魅力あるまちづくりを進めます。

以上のとおり、活力のある企業が多く雇用環境に恵まれていることや、充実した福祉施策・行政サービス等の長所をさらに伸ばすとともに、知名度の向上や、安全・安心なまちづくり等の諸課題に取り組むことで、まちとしての魅力を向上させ、総合計画の基本構想に掲げる将来都市像の「市民とともに作る“躍進する中核都市”かみす」を目指します。これにより、人口は当初の予測から約1万1千人下げ止め、2060年に8万6千人を確保することを目標としています。

#### ●筑波銀行に期待することをお聞かせください

現在進めている「神栖市まち・ひと・しごと創生総合戦略」においては、当市への新しい人の流れを作ることを基本目標の1つに掲げ、若年世帯の住宅取得支援による定住促進、各産業の活性化による安定した雇用の創出を目指しています。金融機関には、当市の施策に合致した住宅ローン等の金融商品の提案等、幅広くバックアップをお願いしたいと考えています。

また、市内の金融機関と新しい警察署が連携し、市民の安心・安全の確保にも取り組んでいただきたい。これからも、地域の発展に力を発揮するよう、大いに期待しています。



風力発電の風車(写真提供:神栖市)